

悪性骨軟部腫瘍におけるフェロトーシス有用性に関する研究

1. 研究の対象

1994 年 1 月～2024 年 3 月に当院で悪性骨軟部腫瘍の手術を受け検体提供に同意いただいた方

2. 研究目的・方法

悪性骨軟部腫瘍（肉腫）は罹患者の約半数が遠隔転移を来し不幸な転帰をたどる難治性希少がんです。それゆえ肉腫に対する新規化学療法の開発が強く望まれております。近年、悪性腫瘍における細胞内代謝への関心が高まっており、鉄代謝もその一つです。鉄依存性細胞死であるフェロトーシスは悪性腫瘍に対する治療ターゲットとして注目を集めつつありますが、肉腫など間葉系腫瘍に対してフェロトーシスの感受性が高いことが示されており、今後の基礎研究により新たな抗がん剤の開発が期待されます。本研究では肉腫におけるフェロトーシスの有用性に関する基礎研究を行い、将来的な新規抗がん剤治療開発を目指します。

研究実施予定期間は倫理審査委員会承認日から 2026 年 3 月です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、化学療法最良総合効果、副作用等の発生状況、画像、血液検査所見、病理所見、全生存期間、無病生存期間、無増悪生存期間、フェロトーシス関連遺伝子発現量 等

試料：手術で摘出した組織

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 整形外科 田宮 大也（研究代表（責任者））

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181